



レッドカードアクション フォトコンテスト大賞 日大国際たんぼぼさん

ストップ！児童労働 キャンペーン 2015 報告書

5/5～7/5

6月12日は児童労働反対世界デー。

10年目のキャンペーンでは、「レッドカードアクション」「署名活動」「イベント開催」を通じて児童労働を知る人を増やし、政府を動かしました。児童労働のない世界に、また一歩近づいています。

レッドカードアクション



投稿された写真

357枚

参加人数

5,779人

Facebook記事を見た人

のべ133,831人

昨年のブラジル・ワールドカップに続き、今年は女子ワールドカップが6月6日から7月5日までカナダで開催されました。これに合わせ、国際労働機関（ILO）の「児童労働にレッドカード・キャンペーン」に賛同し、「児童労働をなくそう！」のカードを掲げて写真を撮る「レッドカードアクション」の実施を呼びかけました。とりわけ6月12日の児童労働反対世界デーには、「児童労働」のワードを含めたツイートが約400件、首都圏を中心に785名がレッドカードをあげました。児童労働という問題が日本でも少しずつ認知されてきていることが感じられました。今年、川崎フロンターレ大久保嘉人選手にレッドカードアクションに参加していただきました。さらに、講演で児童労働の話聞いた女流棋士竹俣紅さんも自身のブログでレッドカードアクションをしてくださいました。ありがとうございました。

ご協力いただいた方々



大久保嘉人選手
プロサッカー選手
川崎フロンターレ所属



竹俣紅さん
女流棋士
渋谷教育学園渋谷高等学校在学

レッドカードアクションフォトコンテスト

キャンペーン期間中にFacebookページでは「レッドカードアクション フォトコンテスト」を実施しました。120作品の応募があり、様々なレッドカードアクションの写真をいただきました。一次審査の一般投票「いいね！」を多く獲得した作品の中から児童労働ネットワーク事務局および運営委員会の中で各部門賞を選定しました。大賞に選ばれた写真は、本報告書の表紙を飾っております。たくさんのご応募ありがとうございました！

受賞作品（一部）



ディック・ブルーナさんのイラスト



「ストップ！児童労働 キャンペーン」では、2013年よりメインキャラクターとしてディック・ブルーナさんのイラスト（左）を起用させていただいています。ディック・ブルーナさんは、世界中で愛されるミフィーで有名なオランダの絵本作家さん。このイラストは1999年にオランダFNV（オランダ労働組合連盟）のために「stop child labour」のポスターに描かれたもので、ディック・ブルーナさんの子どもを大切にしたいという思いが込められています。今年はキャンペーンフライヤーやウェブサイト等に掲載し、「ストップ！児童労働」のメッセージと一緒に広げてくれました。

© Mercis bv

ストップ！児童労働 50万人署名

筆数 51万 3935筆

累計 174万 6492筆

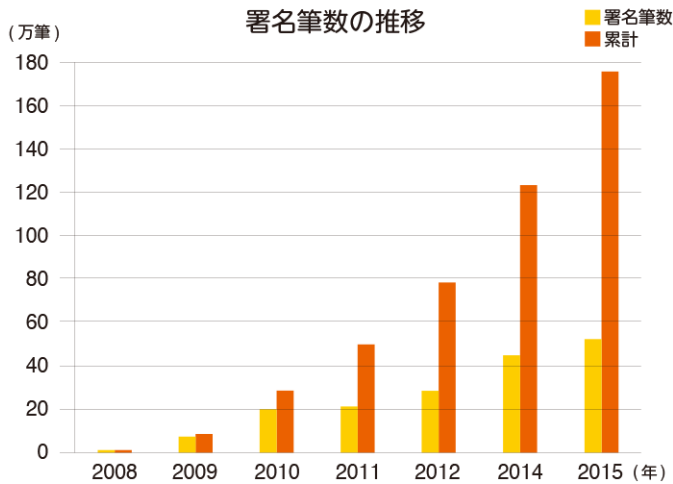
児童労働ネットワークでは、2008年から児童労働への取り組み強化を日本政府に求める署名活動を行っています。今年は2月上旬から7月31日の約5カ月間の署名活動期間中に、全国47都道府県から51万3935筆の署名が集まりました。署名に協力くださる方々は年々増え、累計で170万筆を超える結果となりました。組織や個人でのご協力・お力添えをありがとうございました。

今年度の署名活動は、内閣総理大臣及び4大臣（外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、及び経済産業大臣）に以下を求めるものでした。

【要請事項】

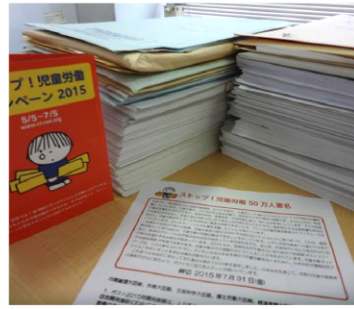
1. 政府開発援助(ODA)において、特に貧困削減、普遍的初等教育の推進、若年雇用対策のなかで、児童労働撤廃の主流化を図るなどして、積極的に取り組んでください。
2. 貿易政策において児童労働撤廃の主流化を図るとともに、企業の児童労働に対する社会的責任の啓発を積極的に行ってください。

2015年にはミレニアム開発目標(MDGs)が期限を迎え、新たな枠組みとして国連で採択される持続可能な開発目標(SDGs)に「2025年までにすべての児童労働を終わらせる」という目標が盛り込まれることが確実視されている(注 9月25日国連総会で決定)ことを背景に、日本政府の積極的なアクションを求める内容となりました。各省庁への提出は2015年秋頃を予定しております。提出日の詳細や報告は、児童労働ネットワークのウェブサイトに掲載いたします。引き続き、児童労働のない社会が実現するよう、政府への働きかけを行ってまいります。



メッセージ

署名とともにたくさんのメッセージも寄せられました。その一部をご紹介します。



「どの国に生まれてきても、子どもたちが遊んで学んで笑顔で成長できるような世界になりますように。」

「過酷な児童労働を一刻も早く撲滅させて、子どもたちが安心して、安全にらせる世界をめざしましょう」

「児童労働を撲滅させ、無限の可能性がある子どもたちに、教育の機会を与えましょう。」

「未来の担い手をみんなで守ろう！」

「地球の未来のため、子どもたちが安全に暮らし、教育を保障されるよう取り組んでください。」

「児童労働撤廃への国際支援強化活動に賛同します。」

「ひとりひとりの子どもたちが大事に育てられますように。」

「児童労働の撤廃を要求します。」

「全世界が本気で取り組めば撤廃できるはず。希望が持てる世界にしよう！」

「Every child needs education.」

「海外のことであろうが、すべては私たちの生活とつながっています。しっかりと私たちが関心を持つことから出発です。」

「児童の大切な生きる時間をうばわず、みんなにとって生きやすい社会にしてください。」

「毎日“ふつう”に生活できる環境づくりを！！」

「子供たちに楽しく学校へ通ってほしい」

「子どもの人権が守られるよう、日本政府の真剣な取り組みを具体化するよう要望します。」

「1本のペン、1冊のノート、1人の教師を！」

「すべての子どもたちが過酷な労働を強いられることなく、安心して学べる明るい未来を展望できるように取り組みを！」

「未来のある子どもたちに、“労働”ではなく、“教育”を！！児童労働撤廃を望みます。」

「子どもの未来は、国の未来、世界の未来です。大人の都合で子どもを利用してはならないと思います。」

「児童労働を今すぐなくすよう、政府として積極的なアピールや取り組みを要請します。」

「子ども達の笑顔と未来を守る活動を！」

賛同イベント

イベントを開催した団体には、次ページの団体一覧で団体名横にイベント番号がついています。

- ① 5月13日(水) 第47回テラ・カフェ
- ② 5月16日(土) オシャレが地球を救う?～素敵な Cotton の選び方～
- ③ 6月6日(土) 2015年度 セミナー第1回
「国際協力と子どもの権利 子どもの権利をベースとした取り組みとは？」
- ④ 6月7日(日) 児童労働の問題を知ろう！テイクアクションパレード 2015
- ⑤ 6月12日(金) 児童労働反対世界デーイベント「児童労働のない未来をつくろう会議」
- ⑥ 6月13日(土) 映画『バレンタイン-揆』上映会&トーク
- ⑦ 6月13日(土) 児童労働に No! レッドカードアクション
- ⑧ 6月14日(日) チャリティーバザール
- ⑨ 6月14日(日) 児童労働反対世界デー記念セミナー「児童労働撤廃に向けた『政治的意志』をつくるには？」
- ⑩ 6月14日(日) めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2015
- ⑪ 6月20日(土) カンボジア事業 15周年記念イベント 美しきカンボジア 一瞬の中の少年たち
- ⑫ 6月25日(木) ライフネット生命保険 出口 治明氏トークセミナー
「人・本・旅から学んだもの～出口治明的教養の身に着け方～」

メディア掲載

- | | |
|----------|------------|
| 5月1日(金) | フード連合機関紙 |
| 5月26日(火) | 読売新聞 |
| 6月1日(月) | 第337号 国際人流 |

メディア掲載数

3件

イベント件数

12件

イベント参加者数

758名

ストップ! 児童労働 キャンペーン 2015 を振り返って



世界の児童労働者、1億6800万人(ILO:2013年発表)。児童労働ネットワークは、日本からこの問題の解決に貢献することを目指すNGO、労働組合、専門家等のネットワーク組織です。児童労働を日本の多くの方に伝えること、政府を動かすことを目的に「ストップ! 児童労働 キャンペーン」を2006年より毎年6月前後に展開しています。

今年はキャンペーンを開始して10年目という節目の年を迎え、2008年から始めた署名活動、昨年から始めたレッドカードアクションにたくさんの方からご協力をいただきました。Facebookでは、日本全国でのレッドカードアクションの活動を皆さんにも見ていただきたいと思います。初の試みとして「レッドカードアクション フォトコンテスト」を実施しました。フォトコンテストには、120作品をご応募いただきました。

6月12日の児童労働反対世界デーでは、ILO本部で行われていたイベントへ向けてSNSを通して発信し、日本国内での取り組みを広く海外へ伝えることもできました。政策提言活動では、7回目となる署名活動を行い、51万3935筆の署名を頂き、過去最高の筆数となりました。インドで児童労働の問題に取り組むカイラシュ・サティヤルティ氏が2014年のノーベル平和賞を受賞しました。また、今年の秋の国連総会では、9月25日に持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。今世界が「児童労働」という問題に目を向けています。児童労働をなくし、子どもの教育や権利を守ることは、世界が優先的に取り組むべき課題であるという認識が世界中で広まってきています。この流れを絶やすことなく、児童労働ネットワークは日本国内での活動に尽力して参ります。

本キャンペーンを共に担ってくださった組織・個人の皆さま、誠にありがとうございました。皆さまと一緒にキャンペーンを上げることができて大変心強かったです。今後とも、児童労働のない未来を共に創っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

児童労働ネットワーク 運営委員 一同

児童労働ネットワーク会員団体 (22)

団体名横の番号は、その団体が開催したキャンペーン賛同イベントの番号です。イベントについては中ページに掲載しています。

特定非営利活動法人アイキャン
公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 ⑦
特定非営利活動法人 ACE ⑤ ⑥ ⑨ ⑫
特定非営利活動法人エファジャパン
特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパン
Club World Peace Japan
グローバル・ヴィレッジ/ピープル・ツリー
特定非営利活動法人国際子ども権利センター ③
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)
公益財団法人国際労働財団 (JILAF)

情報産業労働組合連合会 (情報労連)
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
Save Children Network
特定非営利活動法人ソルト・パヤタス
特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス ①
特定非営利活動法人日本オーガニックコットン流通機構
日本食品関連産業労働組合総連合会 (フード連合)
日本労働組合総連合会 (連合)
フェアトレード・リソースセンター
特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ) ④ ⑩
UAゼンセン (全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟)

キャンペーン賛同団体・個人 (11)

アジアの女性と子どもネットワーク
特定非営利活動法人アユス仏教国際協力ネットワーク
特定非営利活動法人アフリカ日本協議会
オーガニックコットン専門店 Organically
JNNE 教育協力 NGO ネットワーク
特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK) ⑪

静岡学生 NGO あおい
NPO 法人 JFSA ⑧
公益財団法人プラン・ジャパン
特定非営利活動法人ラオスの子ども
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

キャンペーン協力団体 (6)

敬和学園大学共生ボランティアネット
自然派ダイニング BareGREEN
特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会

名古屋をフェアトレード・タウンにしようの会 ②
日大国際たんぼぼ
Better!

協賛 (1)

オリンパス株式会社

キャンペーン特別協力 (2)

株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン

NGO- 労働組合国際協働フォーラム 児童労働グループ

[キャンペーン主催・発行]

児童労働ネットワーク (CL-Net)

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-6-4 あつきビル 3階 (特活)ACE 内

HP: www.cl-net.org TEL: 03-3835-7555 FAX: 03-3835-7601 Eメール: info@cl-net.org

Facebook: www.facebook.com/stopCL Twitter: @CLNET #STOPCL

[発行] 2015年10月

[デザイン] 近藤萌

児童労働ネットワーク (CL-Net) は、
会員募集中です!!

会員になると、会員のメーリングリストや学習会、運営会(オブザーバー参加)などに参加することができます。児童労働をなくすためのネットワークにぜひご参加ください。入会についてはHP(www.cl-net.org)をご覧ください。

